条幅規定参考手本　―4月27日締切―

〈隷書〉

（この課題で書体は自由。但し、この課目は一人一点のみとする）

山本飛雲先生書

〈行書〉

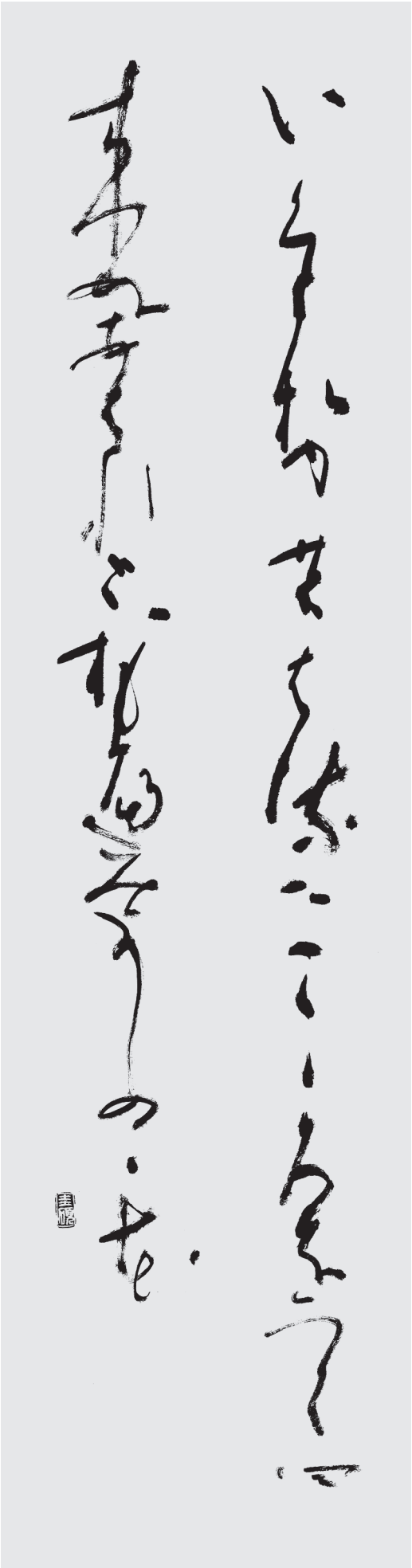
清原大龍先生書

□ 村樹緑斉（ひと）し黄鳥の界、海山青（せい）は尽く白鷗の天。

村の樹木の緑はいっせいに深く、中に鶯が鳴いている。海中の山は、真っ青にそこは、鷗の世界である。

次号予告「柳絮乗風投硯水　竹枝揺影落窗紗」

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）



舟尾圭碩先生書

□いくと勢農（せの）　者流二（はるに）こゝろを　つく四（し）来ぬ　あはれとおも遍（へ）　みよしのゝ花

いくとせの　春に心をつくし来ぬ　あはれと思へ　みよし野の花

〈新古今和歌集　一〇〇　皇太后大夫俊成〉

条幅随意（臨書）（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点のみとする）

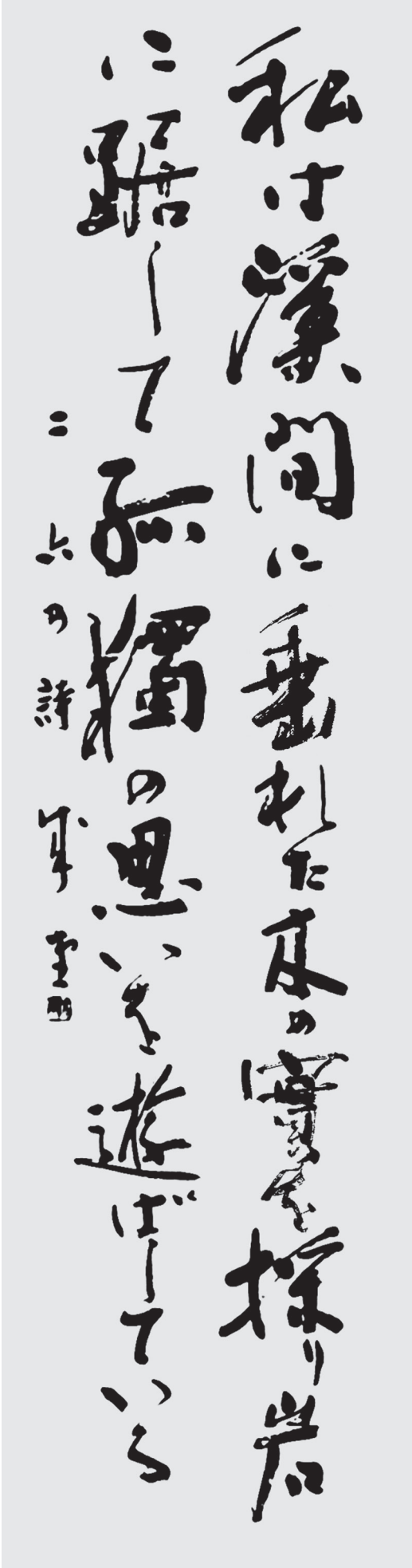
吉田成美先生臨

▽祭姪文稿

惟爾挺生夙標幼德宗廟瑚璉階庭蘭玉每慰

条幅随意参考手本　— 4月27日締切 —

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

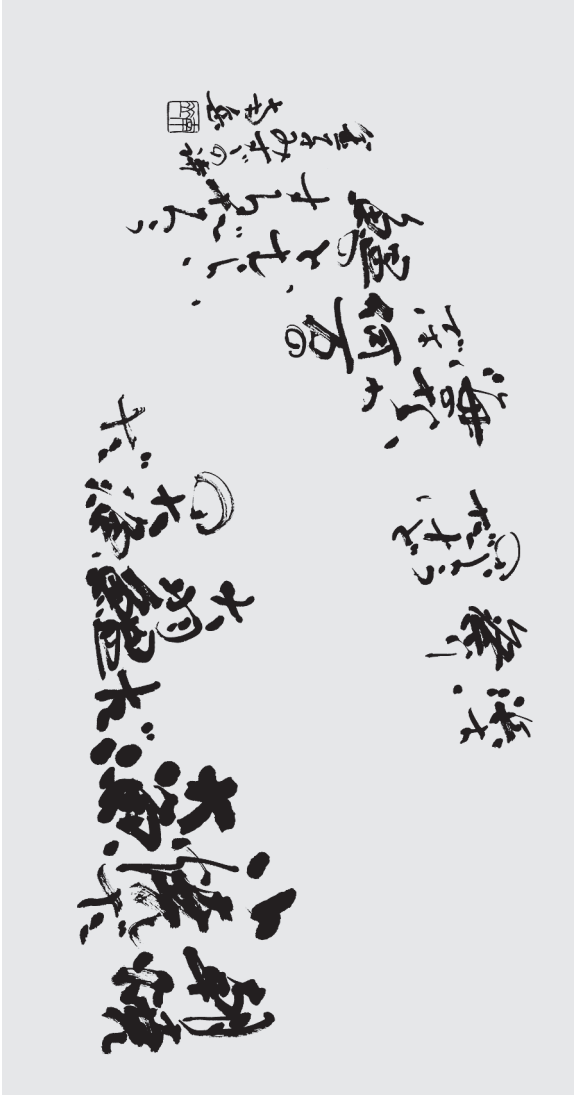


吉田成堂先生書

□山にて（抄）　平木二六の詩

私は渓間に垂れた木の実を採り　岩に踞（きょ）して　孤獨の思いを遊ばしている。

条幅随意（半折½横のみ）（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）



井之上　南岳先生書

□大漁　金子みすゞの詩

朝焼小焼だ　大漁だ　大羽鰮（おおばいわし）の大漁だ
浜は祭りのようだけど　海のなかでは
何万の鰮（いわし）のとむらい　するだろう

現代仮名遣いに改めて、書いてみました。金子みすゞさんの「人間として決して失ってはならないあたたかさと謙虚さ」に感動して…。

条幅随意（半折½）漢字・詩文書の手本は、各月交互の掲載となります。

≪手本（課題例）にとらわれず意欲的な作品を期待します。≫

半折作品は各課目ごとに横⅛に一枚ずつたたんで提出ください。

半紙規定参考手本　―4月27日締切―

（この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする）

□江山花柳満つ（劉因）
川へも山へも春が訪れて花と柳の芽ばかりである。

次号予告「移竹喜微陰」

吉田成美先生書

半紙規定参考手本　―4月27日締切―

（この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする）

□江山花柳満つ（劉因）
川へも山へも春が訪れて花と柳の芽ばかりである。

次号予告「移竹喜微陰」

吉田成美先生書

半　紙　随　意　参　考　手　本　　— 4月27日締切 —

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

半紙随意の漢字・詩文書の手本は、各月 交互の掲載となります .

□鶴雲（かくうん）（李嘉裕）

白鶴に似たる雲、春分正陽に出ずという。また、鶴と雲と。

小　畠　秋　聲　先　生　書

半紙随意（臨書）参考手本　―4月27日締切―

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点とする）

▽祭姪文稿

「階庭蘭玉」

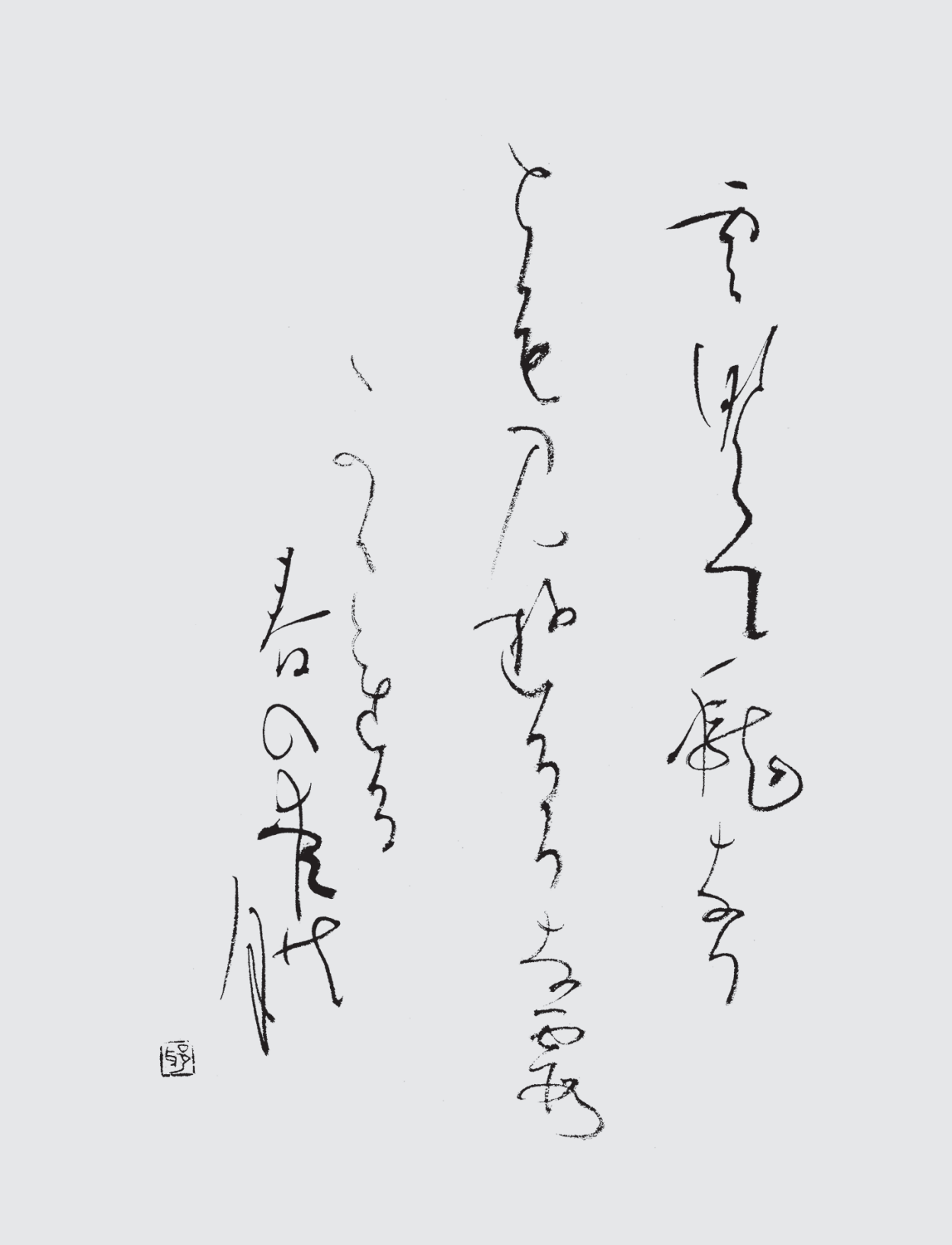
＜臨　書＞　筆圧の変化と点画の流れに注意し、リズムに乗って書きましょう。

吉田成美先生臨

半　紙　随　意　参　考　手　本　　— 4月27日締切 —

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

雲なくて　おぼろなりとも　見ゆるかな　霞かかれる　春の夜の月



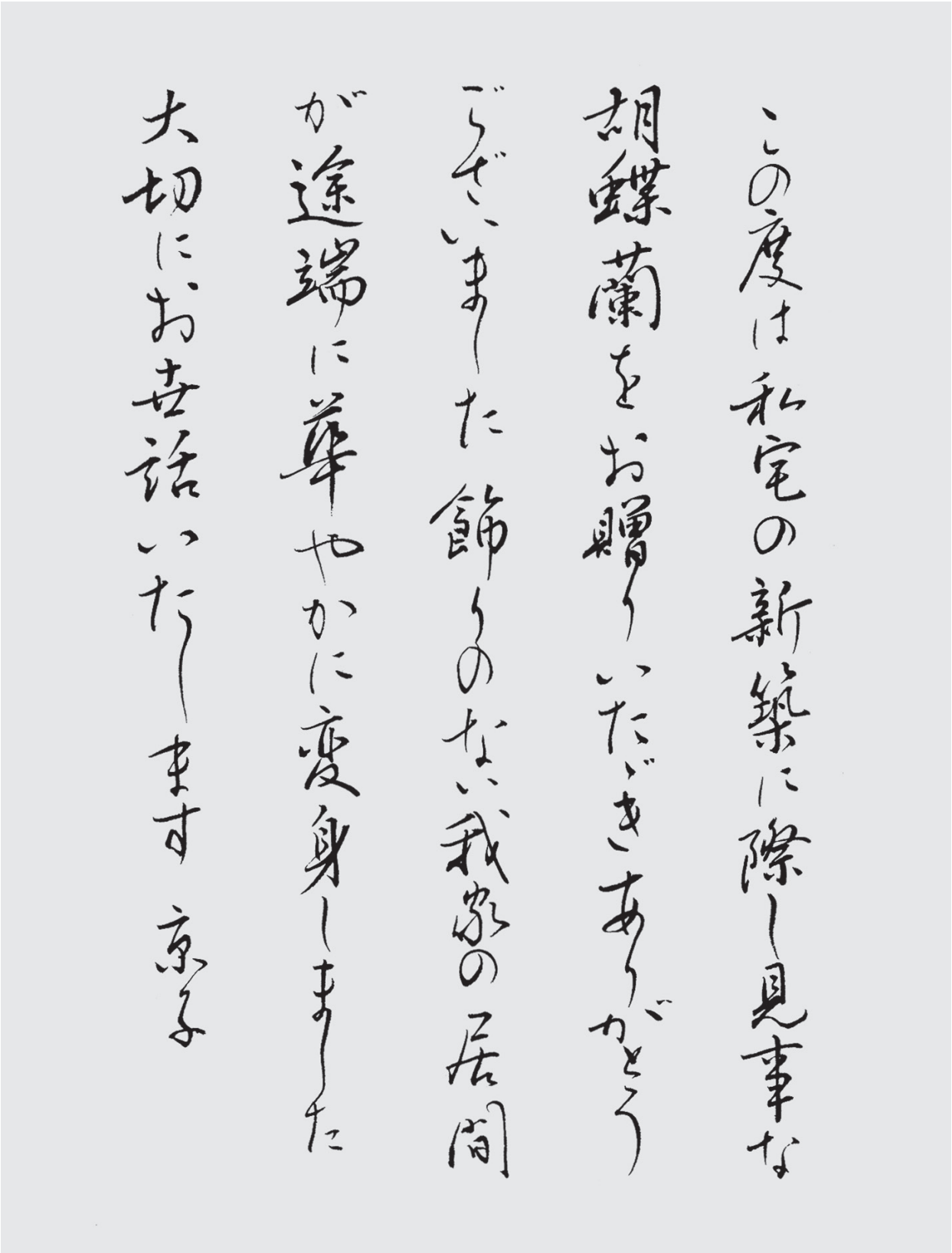
〈仮　名〉雲那くて　朧な利とも　見遊る可な　霞可ゝ連る　春の夜能月（山家集　五一）

小　山　やす子　先生書

半　紙　随　意　参　考　手　本　　— 4月27日締切 —

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

半紙随意の実用書・手紙文の手本は、各月 交互の掲載となります



〈手紙文〉 この度は　私宅の新築に際し　見事な胡蝶蘭をお贈りいただき　ありがとうございました飾りのない我家の居間が
途端に華やかに変身しました　大切にお世話いたします　京子

伊良子　喜　代　先　生　書

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目Ａ・Ｂのいずれか一点のみとする）

＜暮らしに役立つ書＞

書譜

春の便りが多く届くようになりました。
この度は、開店五周年、お祝い申し上げます。
美味し、採れたて野菜と、季節毎の特別
メニュー、体を気遣うやさしい味が、多くの
お客様に愛されてるのでしょうね。
お祝いの会に出席が叶わず、申し訳ございま
せん。新メニューも楽しみに、来週末に
伺います。ご主人様やスタッフの方々にも
よろしくお伝えくださいませ。　貴子

罫のある便箋に書いてみよう。＜26cm×18cm＞　紙質は自由。

※ 本研究社にて「特選便箋」を発売しております。本誌裏面をご参照の上、ご利用ください。

兵　頭　白　慧　先　生　書

一般硬筆部参考手本＜B＞　―4月27日締切―

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目Ａ・Ｂのいずれか一点のみとする）

良いクロワッサンは、かじると表層が
崩れ落ち、ちぎれば静かに抵抗す
るようだ。腕のよい菓子職人は焼き
上りに「手で引き裂いて微かな鳴き
声を聴く」というほど繊細な一品だ。

段　級

氏　名

小畠秋聲先生書

今月のかきかたドリル　（形や注意する点に気をつけてゆっくり書こう！）

中　学	小学６年	小学５年	小学４年	小学３年	小学２年	小学１年	ようねん
盛	得	馬	母	家	雪	な	れ
盛	得	馬	母	家	雪	な	れ
盛	得	馬	母	家	雪	な	れ

一般の方も是非チャレンジしてください。

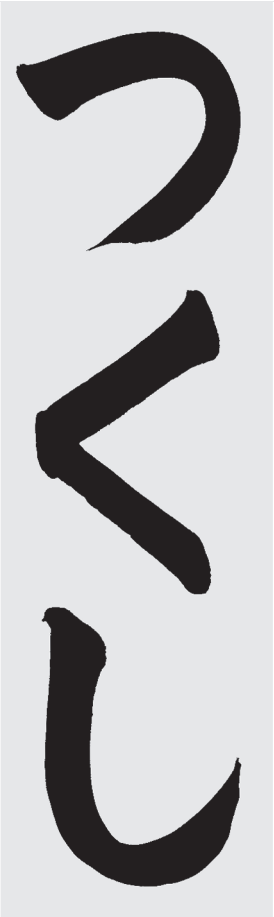
坂元紫香先生書

学生部条幅¼ 参考手本　— 4月27日締切 —

（この課題以外の語句のものもよい。但し、その学年にふさわしい語句が望ましい。）

小学４年

小学３年



小学２年

ようねん・小学１年

中学２・３年

中学１年

小学６年

小学５年

〈条幅¼＝四尺画仙紙半折¼…68cm×17・5cm〉

坂元紫香先生書

ようねん・小学一年

次号予告「く　つ」

□〝ハネ〟〝トメ〟のちがいに気をつけて、げんきよくかきましょう。

小学二年

次号予告「たいこ」

□書き始めは、筆に墨をしっかりとふくませ、ほ先をそろえて、のびやかに書きましょう。

坂元紫香先生書

小学三年

次号予告「日」

□横画の方向の違いと、縦画の位置に気をつけて、伸びやかに元気よく書こう。

小学四年

次号予告「地」

□字形は、やゝ縦長に保ち、二画目の転折、六画目の点は力強く、立体感のある作品にしよう。

吉田成美先生書

学生毛筆部規定参考手本　―4月27日締切―

小学五年

□平仮名は、やゝ力強く太めに書き、「葉」は横画の長さの違いに気をつけて書きましょう。

次号予告「道」

小学六年

□「氵」の点の位置や、「古」の中心のたて画に注意して大きく伸びやかに書きましょう。

次号予告「新　緑」

秋　永　春　霞　先生書

中学一年

□小学校で学習した漢字を構成する点画の種類と、筆使いを確かめながら伸びやかに書こう。

次号予告「探　究」

中学二・三年

□行書の点画の省略を理解し、字形を縦長に保ち、名前も行書でチャレンジしよう。

次号予告「流れる雲」（行書）

吉　田　成　美　先生書

学生硬筆部規定参考手本

— 4月27日締切 —

ようねん　（※ようねんの方は、小学一年の課題を書いてもよい。但、審査は従来通りです。）

れんげそう　みつばち　なのはな

段級	氏名

いけげ　いは

小学一年

つながる　つながる　ながるまるくなる

みんなながよし

いちねんせい

段級	氏名

「よ」「一」「十」「せ」「⊙とめる」「⊙とめる」

坂元紫香先生書

学生硬筆部規定参考手本

— 4月27日締切 —

小学二年

「わたしたちも、ゆれて　おどりたい。おどれば、雪に日があたる。」

段級

氏名

一二三雪雪（ゆき）　一日日日［すこし　つきでる］

小学三年

見下ろすと、ぶなの木のねもとに、野ねずみの家族が、みんなできつつきを見上げています。

段級

氏名

日日甲里野野［⊙はねる］　方方方族族（ぞく）［⊙たててよこかくにつける］　一上上

坂元紫香先生書

小学四年

水色の新しい虫とりあみをかかえた男の子が、エプロンを着けたままのお母さんの手を、引っぱっている。

段級

氏名

坂元紫香先生書

小学五年

子馬は、ぱちりとまばたきした。春花は、その美しい目に、すいこまれそうな気がした。作業をしていた牧場のおばさんが、手を止めて、春花に話しかけた。

段級

氏名

小畠秋聲先生書

学生硬筆部規定参考手本

— 4月27日締切 —

小学六年

絵の得意なお母さんは、しょんぼりするお父さんの似顔絵を手紙にそえていた。学校にいる間、何度も心の中で練習した。お父さん、この前はごめんなさい。

段級

氏名

行 彳 彳 得 得 ⊙はねる 得 彳 似 似 似 似 似 ⊙とめる 紙 紙 紙 紙 ⊙はねる

中学

「駅前に新しくできたスーパーな。あそこなら安いし」今日の放課後、何人かの男子で盛り上がっていた。「僕も行こうかな」そう言うすき間はいくつかあって、間もあった。

駅 駅 ⊙はねる 成 成 ⊙はねる 盛 盛 盛